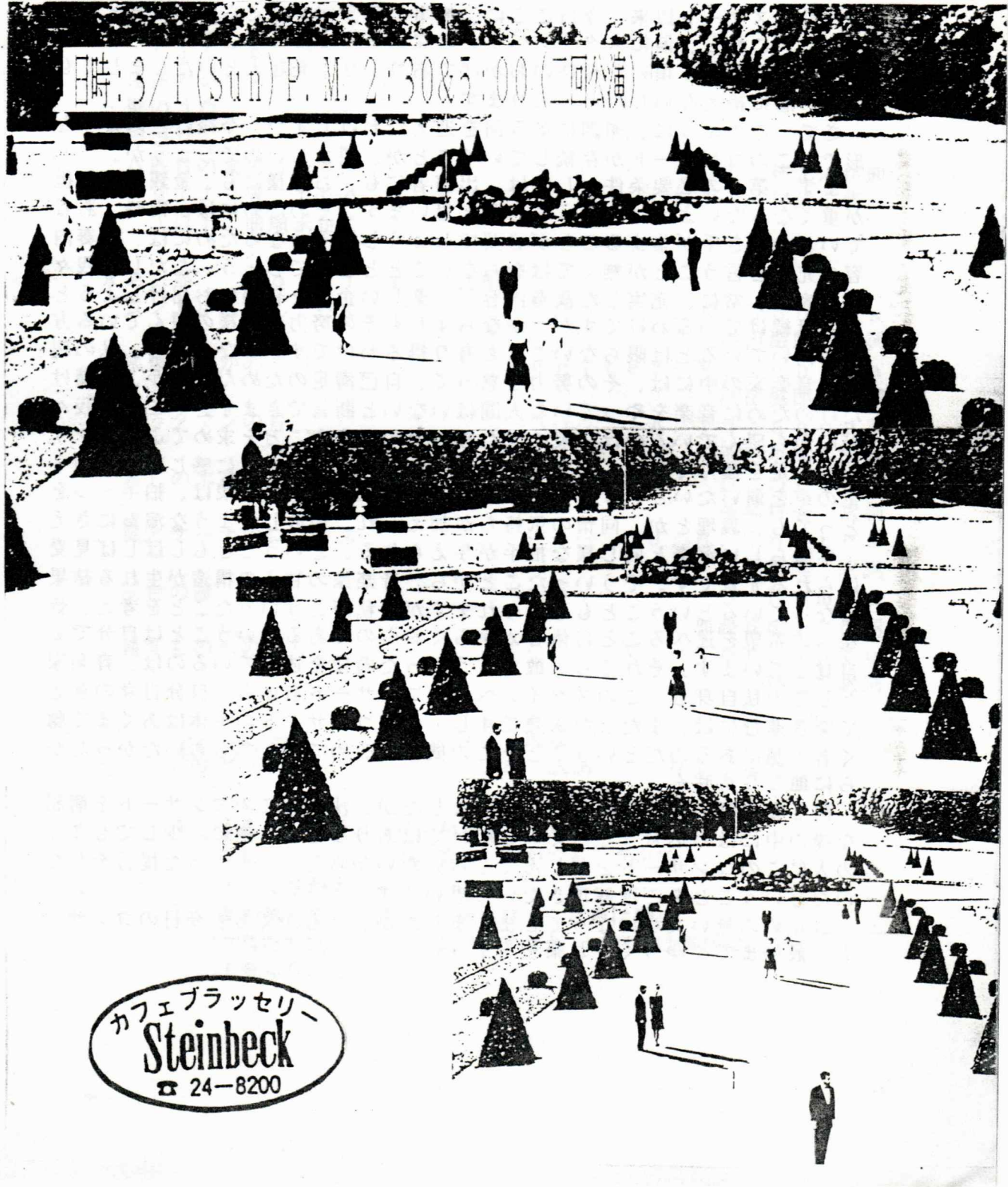




Steinbeck Concert Series

Vol. 1, V男声ヴォーカルの魅力

日時: 3/1 (Sun) P. M. 2:30 & 5:00 (二回公演)



カフェブラッセリー
Steinbeck
☎ 24-8200

第5回を迎えたスタインベックコンサートの今後

スタインベックコンサート企画推進委員長 堀部一寿

本日は、第5回スタインベックコンサートにご来場頂き、誠にありがとうございます。早いもので、このスタインベックコンサートシリーズも、昨年の9月にスタート以来、今日ここに、無事、第5回を迎えられることとなりました。これも、偏にスタインベックのマスターをはじめ、このコンサートを温かく見守って頂いた皆様のおかげであり、私、発起人といたしましても感謝の念に絶えないしだいでもあります。

さて、このように、順調に第5回を迎えたわけですが、今後はどのような形で、このコンサートが存続していくことが、望ましいのでしょうか。

まず、第一の必要条件としては、出演者にも、お客様にも、金銭的な負担が重くならないということだと思います。そのためには、常時、あるていどの聴き手が集まることが必要でしょうし、そうなるためには、演奏内容の充実と言うことが無くてはならないこととなるでしょう。ただし、我々音楽家は、常に、充実した演奏内容と、楽しい企画を皆様にお届けしようと努力は続けているわけですが、かならずしもその努力が皆様の望んでいる方向に向いているとは限らないことも有り得るわけです。少なくとも、私の親しい音楽家の中には、その努力を怠って、自己満足のためだけとか、金儲けだけのために音楽をやっている人間はいないと断言できます。そこで、我々が心から望んでいるのは一般の方たちがどのようなことを求めてこのコンサートに足を運んで頂き、実際コンサートを聴いてどのように感じたかという生の声を伺いたいということなのです。一般に、日本の聴衆は、拍手一つをとっても、義理とか、同情の気持ちが加えられ、失敗したような演奏にさえ、素晴らしい演奏と同じ様な拍手が与えられる、ということもしばしば見受けられる光景です。そういったことから、音楽家の甘えの構造が生れる結果になっているということも考えられますが、私がこういったことを考え、皆様への希望を述べること自体甘えからくるものであるということは自分でも自覚しています。それでも、敢てこういった希望を述べているのは、音楽家としての私自身も、このスタインベックコンサート自体も、自分自身の意志で突き進むには、まだまだ未熟ですし、このコンサートの主体はあくまで聴く者の側にあるのだということをこの機会に改めて考えてもらいたかったからに他なりません。

何となく堅い話に終始してしまいましたが、決してこのコンサートを窮屈な枠の中にはめ込もうとしているわけではありません。逆に、少しでも多くの人にこのコンサートを楽しんでもらいたいからこそこういった提言をしたのだということをご理解頂きたいと思います。

取止めの無い文章になってしまいましたが、ともかくも、今日のコンサート、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。



PROGRAM

★第一部 My Song Album

- ・雨の音楽
- ・告別
- ・カンタータ「脱出」より
じぶんの影だけのときの歌
- ・運命のジャズ
- ・壁のうた
- ・物語り
- ・八匹目の象のうた 以上、林光／作曲
- ・Follow the Sun 谷村新司／作詞・作曲
(以上、曲順未定)

★第二部 Folklore 名曲集

- ・コンドルは飛んで行く D. A. Robles
浜田滋郎 訳詞
- ・素焼きのかめ Benitez - Valencia
浜田滋郎 訳詞
- ・トゥクマンの月 A. Yupanqui
浜田滋郎 訳詞
- ・君しのお夜 D. Ortiz
高場将美 訳詞
- ・風とケーナのロマンス J. R. Torres
高場将美 訳詞
- ・灰色の瞳 U. Ramos
加藤登紀子 作詞
- ・耕すものへの祈り Victor Jara
林光 訳詞

鳥の歌

カタロニア民謡
北川フラム 訳詞 林光 編曲

1. うるわしき夜 けだかき光 大地を照らせば
※鳥たち集い 祝い歌う かぐわしき声で
(※くりかえし)
2. 森の奥まで メロディー流れ 歌声は響く
※鳥たち歌う 「イエスが生まれ 悩みは喜びに」
(※くりかえし)

メンバー紹介

☆武田 茂（テノールⅠ）

元こんにゃく座座員。小城登、ロドルフォ・リッチ両氏に師事。林光のオペラ「白墨の輪」「べっかんこ鬼」「ちゅうたの空想」などのオペラに出演。現在は、町の鉄工所で働きながら本格的なオペラ歌手を目指し勉強中。

☆杉野 正隆（テノールⅡ）

国立音楽大学大学院修了。卒業後は、オペラを中心に活動し、「奥様女中」「魔笛」「フィガロの結婚」「ドン・ジョヴァンニ」「べっかんこ鬼」などに出演。外見に似合わず、三枚目役を得意とする。

☆長島 茂（バリトン）

国立音楽大学大学院修了。秦野靖祐、井上貞一両氏に師事。オペラ「人買い太郎兵衛」、NHK・FM「午後のリサイタル」などに出演。現在、千葉県立布佐高校教諭。スタインベックコンサートには、第4回に続いて2度目の出演。今回の男性4人のうち、唯一の既婚者！

☆堀部 一寿（バス）

現在、土浦を中心に音楽活動を行なっているが、実は、東京生れの東京育ち。歌以外にも、音楽に関することには幅広く興味を示し、最近では邦楽やロックにも手を広げる。しかし、再び歌の素晴らしさと難しさを悟り、猛勉強を始めようとしているところである。

☆早乙女 純子（ピアノ）

国立音楽大学教育科（Ⅱ類）卒業。大学在学中は、創作オペラのサークル「まるめろ座」の座付き伴奏者として活動を行なう。また、歌曲等を中心に、作曲、伴奏の両面から音楽を見つめるといった意味でも貴重な存在である。現在、流山市立東小学校講師。